



グリップヒーターHG 取り付けについて

JFBR1530A1

適合車種：Z125PRO（2BJ-BR125H）

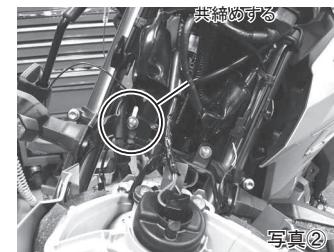
このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、
いつも手元に置いて、正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。



※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

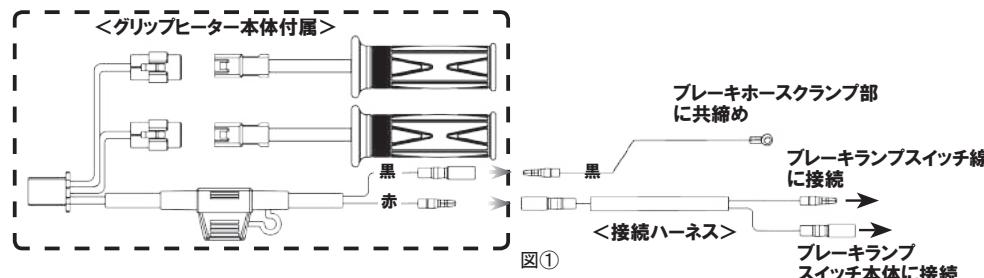
①配線の接続について（図①）

付属している電源線の+側はFRブレーキランプスイッチ部（写真①）から、アース線はブレーキホースのクランプ部（写真②）から取って接続します。アース部は塗装をヤスリやサンドペーパーで剥がしてから取り付けします。この後、左右グリップ、スイッチを仮接続してグリップヒーターの動作確認をしておきます。問題が無く動作すれば、グリップとスイッチはいったん外します。



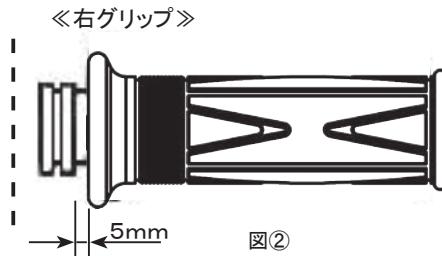
②左右グリップの取り付け

左右それぞれの純正グリップを取り外します。純正グリップが付いていたところに付着しているボンドをパーツクリーナーなどできれいに取り除きます。グリップヒーターの配線位置を間違えないようにグリップヒーターを差し込みます。このとき、グリップが手で触って暖かいくらいまで仮組みで暖めておくと差し込みやすくなります。また、右グリップは下図のようにスロットルパイプとグリップ間が5MMくらいになるようにしてください。



▲ 注意

左右のグリップ共にグリップから出ている配線の位置を確認してから取り付けしてください。また、右側はスロットルを回した時に配線には絶対負荷がかからないようにしてください。グリップから配線が出ていている部分は弱く、断線して破損してしまう恐れがあります。



グリップヒーター取り付け用 KIT

INSTRUCTIONS MANUAL

取扱説明書

●注意

グリップヒーターを取り付ける際に、グリップヒーターのエンドをハンマーで叩いたり、グリップを強くねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがありますので、絶対にしないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に1分以上は暖めないでください。（特に右側）。内部が変形してしまい、熱線が出てきてしまう恐れがあります。

※右側グリップはスロットルを全開、全閉にしたときに、グリップから出ているケーブルに負荷がかからないように取り付けてください。

※必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離した状態でスロットルが確実に全閉まで戻ることを確認、点検を行ってください。

③スイッチ部の取り付け

グリップヒーターに付属のステーをハンドルに固定します。
→このとき、操作の邪魔にならない位置にクランプしてください。



写真③

④配線のまとめ

左右グリップの取り付けが終わったら、右グリップの配線は純正スイッチBOXのハーネスに沿うように、左グリップの配線は純正スイッチBOXの配線に沿うように通してのグリップヒーターハーネスのカプラーに接続します。

また、配線の長さが余ってしまっている部分は純正のメータ一下ハーネスなどにタイラップなどでまとめて固定します。

→ハンドルを左右に動かしてハーネスに力がかかるしていないか、ハンドル操作、レバーの操作の邪魔になっていないか、スロットル操作の邪魔になっていないかどうか確認します。

確認が終わったら、念のため接続ハーネスのギボシ部は配線テープなどで保護しておきます。



写真④

⑤取り付け完了

ステー部にメーターを固定して、取り外した部品を元に戻せば完成です。動作確認をします。問題なく温まったら、カウルを元に戻して取り付け完了です。

・グリップヒーター（スイッチ）の使い方はグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625
endurance-parts.com

2021.10.25